



畠 貞一郎
(大河・生々・みどりの会連合)

北高跡地の利活用

質 県では、北高・商業高校統合の基本設計の予算が可決されたが、中心市街地活性化計画には何も示されていないが、今後の利活用について市としての考えは。

答 県の平成21年度当初予算に統合校整備事業費が計上、議決され、25年4月開校が正式に決定されたことで、跡地利用について、市として関与できる条件が整ったものであり、計画の策定段階では盛り込めなかった。この場所は計画の重点地域にあり、今後中心市街地の活性化のための利活用を検討していきたい。

イオン出店問題

質 農振除外計画が進められたにもかかわらず、イオン出店について何の動きも見られないが、イオン側に議会及び市民に、執行部にきていただき説明を求めるべきではないか。

答 イオン出店問題については、予定地への出店計画に変わりはないということであるので、イオン側の責任のある方々に来ていただくということは今のところ考えていない。

その他の質問事項

- ・ 中心市街地活性化計画
- ・ 能代まちづくり合同会社
- ・ 地デジ放送への行政の対応



菊地 時子
(日本共産党)

乳幼児医療費助成

質 全県でも約半数の自治体で、財政が厳しい中、所得制限なし、自己負担なしである。子育てに対する親の負担を軽くし、将来を担う子供の命を守るために乳幼児医療費助成の拡充を。

答 本市では、県の制度を活用して医療費助成しているが、制度では対象とならない乳幼児の一部についても、市単独で医療費助成を行っている。県では少子化政策本部が設置され、乳幼児医療費助成制度についても検討されるとのことだが、本市もその拡充の必要性は認識しており、県の動向も見きわめて対応したい。

住民要望実現と中小業者の仕事おこし

質 公的施設等の修繕に早急に取り組むことや、自治会からの住民要望を実現させる等、地域・生活密着型の公共事業を推し進めて中小業者の仕事おこしをやるべきと考えるが。

答 小規模修繕契約希望者登録制度による維持補修は年度によって増減があるが、緊急性、利用者の利便性を考慮し、速やかに対応して受注機会拡大に努める。自治会要望は、緊急性の高いものを優先的に対応することになっているが、予算の関係から均一な対応はできない。国の経済対策を活用し住民要望の実現に努めたい。

その他の質問事項

- ・ 学校給食
- ・ 学童保育



原田 悦子
(よねしろ会)

市町合併の効果

質 市民から合併して何がよくなったのかと合併の効果を実感できる声が聞こえてこないが。

答 今回の合併は、国・地方の厳しい財政状況の中で、この地域の生き残りをかけ、時代の変化に対応した効率的な行政運営を行っていくための効率化・簡素化、医療・福祉等の行政サービスの利便性向上、行政・住民の連携も進んでいる。評価はさまざまだが、合併の効果を感じてもらえるよう努めたい。

森林の育樹

質 木を植えて緑を増やす「植樹祭」は植林だけでなく、森林育成のための育樹事業が必要でないか。

答 植樹祭は、今後も国土緑化市民運動として位置づけ、森林づくりが一層推進されるよう努めていきたい。また、育樹事業については、これまでの植樹祭は、新規の場所に樹木を植えることに専念してきたが、育樹の視点も緑化思想を幅広くするには大切なことと考え、国土緑化推進委員会の中で検討していきたい。



植樹祭 (中沢にて)

その他の質問事項

- ・ 父子家庭へ市独自の児童育成支援
- ・ 広聴事業
- ・ 能代産業廃棄物処理センター